

自身の能力のレベルアップを図ったりして、入社当時の想いのまま安全社会への貢献ができたと思います。

最近、結婚5年目にして待望の妻の妊娠が判明しました。親となることを少しずつ実感しつつ、嬉しさと不安が交互する毎日です。妻となるべく一緒に病院へ行くよ

うにしており、学生時代に頑張った超音波装置でどんどん大きくなる妻のおなかの中の子供をみているのは何だか不思議な気持ちです。

最後になりますが、皆様方のますますのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

## 近藤 修平

関西電力株式会社

平成6年電子工学科卒  
平成8年電子工学専攻修士了



私は、平成8年に修士課程を修了し、関西電力に入社して現在で11年目になりました。学部生の時代は半導体デバイスの研究をし、大学院の時代は人工神経回路網の研究をしていました。就職する際に、現在のご退官されている豊田先生の電力工学の授業が大変面白かったので、電力業界を就職先に選びました。

入社して最初の配属は、加古川電力所（兵庫県高砂市）でした。ここでは、リレー及び通信設備保守の経験を積ませていただきました。変電所の中で、授業で教わった“後備保護”、“主保護”の実物を見ることができました。当時はデジタル式のリレーよりも、機械式のリレーが多かった記憶があります。でも、いまではデジタル式リレーの方が多くいでしょうね。

入社2年目の異動で、中央建設事務所に配属となり、通信設備の設計業務（反射板及び通信鉄塔の設計）の経験を少し積みました。通信回路の設計の際に、グラフ理論はこういうところに使うのかなと考えていました。さて、当時は反射板の新規立地の適合性を確認するため、山に登ったりしましたが、年末のある日に通信用反射板の見直し確認のために、京都の舞鶴にある山に登ったときのことです。山頂で見直し確認を終えて、下山してい

る最中に雪が降ってきまして帰り道に迷い、危うくプチ遭難しかかったのは今では思い出です。

入社3年目の夏、社内で炭化珪素（SiC）の研究開発を行うベンチャー企業への出向の募集がありました。“研究第一主義”の東北大の血が騒ぎ、応募して、社内選考の末、なんとか出向が決まりました。SiC、GaNのような化合物半導体は、昇華法で結晶成長させるのですが、そんなことも知らないで、無謀にも研究を開始しました。手探りの研究でしたが、2年間在籍のうちに2インチ径の6H型SiCの結晶を無事に成長させることができました。窒素を添加した6HSiCの結晶は緑色のガラスのようで、とてもきれいでした。

出向が終わり、関西電力に戻り、現在兵庫県尼崎のエネルギー利用技術研究所に在籍しています。現在の研究内容は、これまでとは変わり、住宅内におけるエネルギー消費量の調査及び分析です。地球温暖化のためには、住宅内で消費されるエネルギーは削減しなければならないのですが、生活の質を落とさないでCO<sub>2</sub>排出量の削減をするには、どうすれば良いのかが難しいところです。生活環境が関係するので、大学の建築学科の住環境工学の先生と行っています。この研究をするまでは建築学とは建物設計のイメージでしたが、実は生活全般を扱う工学が建築学だと知りました。電子工学を出た目から見ると、電気系工学と、建築工学は重なる部分が大変多く感じます。紙面が尽きてきましたが、これまでの10年を振り返ると、様々な経験を社会人になってから積むことができました。その基礎は大学時代の電気・電子・通信・情報工学を自由に学べたことにあると思います。

最後になりますが、東北大同窓生の皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。

## 叙勲・褒章・顕彰

下記の方々のご受章をお喜び申し上げます。

瑞宝中綬章 木村正行

瑞宝中綬章 城戸健一

紫綬褒章 舛岡富士夫